

編集委員会

編集長： 久保田正人
 編集委員（五十音順）：周 飛帆 清野 智昭 田中 愼 土肥 充
 Lorene Pagcaliwagan

査読者一覧（五十音順）

久保田正人 周 飛帆 清野 智昭 高橋 秀夫 田中 愼
 土肥 充 Lorene Pagcaliwagan

編集後記

『言語文化論叢』第5号をお届けします。本号は御子柴道夫教授（ロシア思想史）の定年退職記念号でもあります。御子柴教授の人となりについては、泉利明氏、吉田陸氏、橋本雄一氏の文章でつまびらかにされていますが、それにくわえて、やはりご本人の文章もほしいと編集委員会から御子柴教授にお願いしました。そうしたところ「講義ノート」という思いもよらない贈り物をいただきました。ただ感謝あるのみです。

さて、文字どおりの「編集後記」を記します。先号の編集後記にも記されているとおり、『言語文化論叢』は査読制度を採用しています。最終的には採用の可否を判断しますが、基本的には投稿論文の内容をよりよいものにするための助言に主眼を置いています。この助言を受けて、執筆者には、大なり小なり、改訂版の作成をお願いしました。その結果、いずれも質の高い論文になって世に送り出すことができたと確信しています。なお記録として残しておきますが、投稿希望論文数は10編、ここに掲載されるに至った論文は6編でした。